



STANDARD
TOKYO

2026 年 8 月 6 日

各 位

会社名 株式会社セプテーニ・ホールディングス
代表者名 代表取締役 グループ社長執行役員 神 埜 雄 一
(東証スタンダード コード番号 4 2 9 3)

2026 年 12 月期通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2026 年 5 月 13 日に開示しました 2026 年 12 月期通期（2026 年 1 月 1 日～2026 年 12 月 31 日）の連結業績予想を修正することといたしましたので、お知らせいたします。

なお、2026 年 12 月期の期末配当については、2026 年 7 月 21 日に公表しました「剰余金の配当（2026 年 12 月期期中配当）」の内容から変更はございません。

記

1. 2026 年 12 月期通期連結業績予想（2026 年 1 月 1 日～2026 年 12 月 31 日）

	収益	Non-GAAP 営業利益	親会社の所有者に 帰属する当期利益	基本的1株当たり 当期利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	33,300	5,400	5,250	25.31
今回発表予想（B）	33,300	5,400	6,000	29.21
増減額（B－A）	—	—	+750	—
増減率（％）	—	—	+14.3	—
前期実績 （2025 年 12 月期通期）	30,309	4,414	3,491	16.83
前期比増減率（％）	+9.9	+22.3	+71.9	—

(注) Non-GAAP 営業利益は、IFRS に基づく営業利益から、買収に伴う無形資産の償却費、M&A に伴う費用等の買収行為に関連する損益、及び減損損失、固定資産の売却損益等の一時的要因を調整した恒常的な事業の業績を測る利益指標であります。

2. 修正の理由

2026 年 5 月 26 日に公表しました「連結子会社の異動（株式譲渡）に関するお知らせ」のとおり、東南アジアにてデジタルマーケティング支援を行う LION DIGITAL GLOBAL LIMITED の株式譲渡を決議しております。加えて、その親会社（当社の連結子会社）である Septeni Asia Pacific Pte. Ltd. の清算を決定したことに伴い、Septeni Asia Pacific 社への投資にかかる将来減算一時差異に対する繰延税金資産および法人税等調整額（益）を計上いたしました。

これにより、法人税負担の軽減効果を反映し、親会社の所有者に帰属する当期利益が 2026 年 5 月 13 日時点での業績予想を上振れる見通しとなりましたので、通期の業績予想を上方修正いたします。

通期業績予想の達成に向けては、2026 年下期につきましては、世界情勢をはじめとしたマクロ環境の不透明感に起因する、当社業績への直接的な影響は現時点で見込んでおりません。一方、景気減退や消費動向の悪化などによる広告市場全体への間接的影響が生じる可能性を鑑み、現時点では保守的な前提を置いております。

引き続き、足元の事業成長に向けた、筋肉質な事業基盤の構築による収益性、生産性の向上のための取組みを進めながら、「VISION 2030」の達成と中長期での事業成長を見据えた各種施策の実行・推進に努めてまいります。

なお、今回の修正により、親会社の所有者に帰属する当期利益は中期経営計画（FY2026-FY2028）における 2028 年の目標も前倒しで達成することを見込んでおります。3 ヶ年の数値目標の修正についても、今後のマクロ動向や事業進捗を精査した上で適宜検討を進めており、公表すべき事項が生じた場合には速やかに開示いたします。

（ご注意）

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績は、様々な要因により上記予想数値と異なる場合があります。

以 上

■本件に関するお問合せ先

C E O オフィス コーポレートコミュニケーション部 I R ・ S R 課 E-mail: ir@septeni-holdings.co.jp